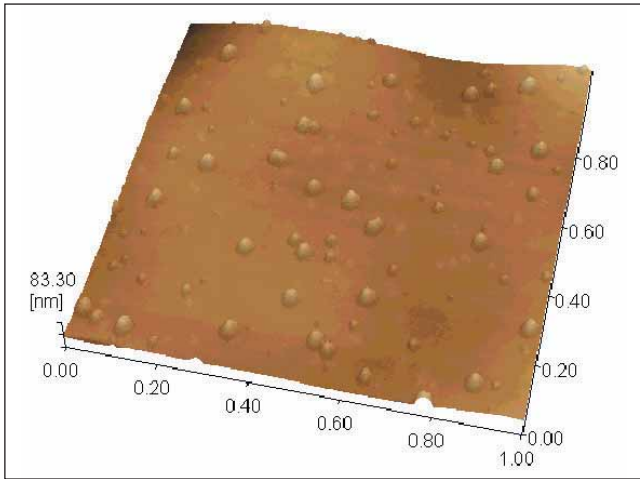


フィルム表面の観察例



1000.00×1000.00[nm] Z-Max 83.30[nm]

Fig.1 三次元像

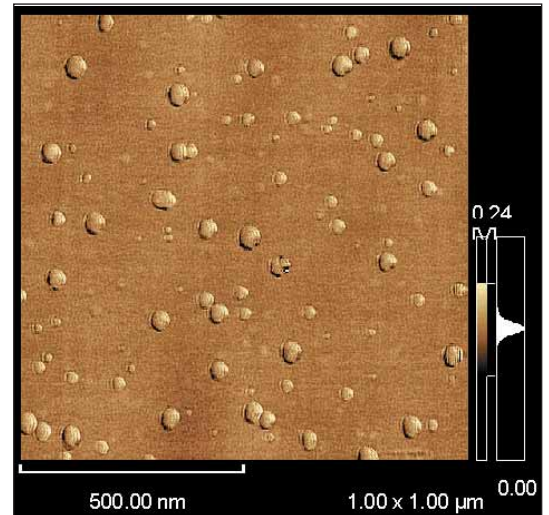


Fig.2 COS像

これはインスタントカメラフィルムのネガ表面です。SPM（走査型プローブ顕微鏡）により、大気中、無蒸着、非破壊で三次元形状が精密かつ容易に観察できます。表面上に10nm相当の粒子が確認できることから、SPMは驚異的な空間分解能を有していることが分かります（Fig.1）。

粘弾性測定システムにより、COS像*（Fig.2）など物性を表わすデータを得ることができます。Fig.2では、粒子とその周囲部の物性の違いが画像化されています。

画像データを処理することにより三次元表示したり、断面形状（Table.1）から高低差を知ることができます。

このように、SPMは光学顕微鏡や電子顕微鏡では得られないデータを提供します。

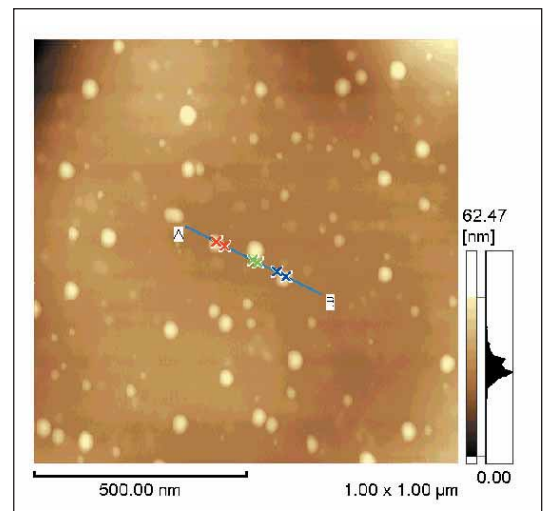
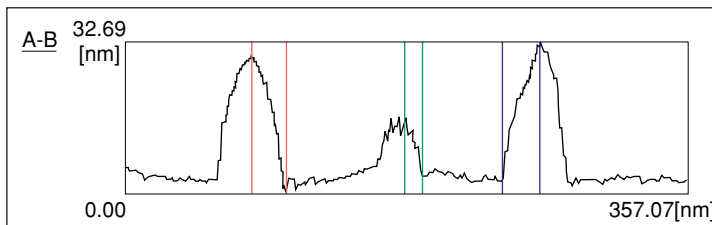


Fig.3 表面形状像



| | 距離[nm] | 高さ[nm] | 角度[°] |
|---|--------|--------|-------|
| — | 22.27 | 29.46 | 52.92 |
| — | 11.13 | 10.32 | 42.83 |
| — | 24.65 | 29.89 | 50.48 |

Table.1 断面形状

* 資料番号 C147-0554 粘弾性測定Q&Aを参照ください。